



MORITA GROUP

人と地球のいのちを守る

証券コード 6455

Business Report

株主・投資家の皆様へ

第87期 中間報告書

2019年4月1日▶

2019年9月30日

Top Message ●ご挨拶

当社は、明治40年(1907年)の創業以来、長きにわたって、消防車のトップメーカーとして、わが国の消防技術発展の歴史とともに歩んでまいりました。これもひとえに株主様をはじめ関係各位からの温かいご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

当社グループは、「人と地球のいのちを守る」というスローガンを掲げ、消防車両・防災・産業機械・環境車両の4つの事業を展開し、災害から人々の生命、財産、そしてかけがえない地球の自然を守る企業グループであり続けること、またそのために一層の技術革新と挑戦を続け、新たな価値を創造することが私たちの使命であると

考えております。

本年4月に策定いたしました2025年度を最終年度とする中期経営計画《Morita Reborn 2025》では、「既存事業の収益力強化」、「海外事業・新規事業の育成、拡大」、「基礎研究力・新商品開発力の強化」、「革新力を持った人財の育成」、「CSR活動の推進」を基本方針とし、グローバルな総合防災ソリューション企業へと飛躍すべく確実に実行してまいります。これからも、広く社会から信頼される企業グループを目指し、全社一丸となって邁進してまいりますので、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長兼CEO 中島 正博

代表取締役 社長執行役員 尾形 和美

第87期第2四半期の概況

売上高

31,678 百万円

前年同期比
0.8%減



営業利益

1,424 百万円

前年同期比
30.3%増



経常利益

1,557 百万円

前年同期比
12.9%増



親会社株主に帰属する
四半期純利益

2,065 百万円

前年同期比
183.5%増



当第2四半期におけるわが国経済は、米中貿易摩擦や中国経済の成長鈍化などの影響による世界経済の減速懸念により、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは新たに策定いたしました中期経営計画「Morita Reborn 2025」の初年度として、企業価値の向上に向けた諸施策に取り組んでおります。

経営成績につきましては、売上高は、前年同期比246百

万円減少し、31,678百万円(0.8%減)となりました。一方、営業利益は、前年同期比331百万円増加し、1,424百万円(30.3%増)、経常利益は、前年同期比178百万円増加し、1,557百万円(12.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、旧東京本社売却による固定資産売却益を計上したこともあり、前年同期比1,336百万円増加し、2,065百万円(183.5%増)となりました。

生活者向け防災ブランド+maffs(マフス)の「+ 住宅用消火器」 「2019年度グッドデザイン・ベスト100」を受賞

防 災 事 業

モリタ宮田工業が展開する、「防災をライフスタイルに。」をコンセプトに、生活者のライフスタイルに寄り添う防災ブランド+maffs(マフス)の第一弾プロダクト「+ 住宅用消火器」が公益財団法人日本デザイン振興会主催のグッドデザイン賞において受賞対象の中で審査委員会により特に高い評価を得た100件に贈られる「2019年度グッドデザイン・ベスト100」とその中から選出される「グッドフォーカス賞[防災・復興デザイン]」を受賞しました。

■受賞製品「+ 住宅用消火器」について

「+ 住宅用消火器」は2019年1月に発売した、生活者向け防災ブランド+maffs(マフス)の初めての製品です。「防災をライフスタイルに。」というブランドコンセプトをもとに、住環境への調和を実現するため、マットな質感とシンプルなデザインを実現した住宅用の消火器です。

審査委員からは、「消火器をモノトーンカラーに変化させたという小さな行為にもかかわらず空間における調和という点では非常に大きな行為であり、視認性が良くなければいけないという意識からこれまで当たり前のように赤色でなければならないという考えがあり、それを長年受け入れてきたアイテムのような気がします。もしかすると他にも様々な分野で、このような変革が可能なものがあるのではないかと、またそれを変えていけるのではないかとという意識を持たせてくれる。」とのコメントをいただきました。

■「グッドフォーカス賞[防災・復興デザイン]」について

グッドフォーカス賞[防災・復興デザイン]は、2019年度に選ばれたすべてのグッドデザイン賞受賞対象の中で、自然災害への防備または自然災害による被害からの復興に寄与する優れたデザインとして特に認めるものに与えられるものです。



天然シルクの温かい泡で全身をパックする泡シャワー「KINUAMI(絹浴み)」 「2019年度グッドデザイン賞」を受賞

防 災 事 業

モリタ宮田工業と住宅設備機器販売の株式会社NITTO CERAが共同開発した、高密度の泡を発生させ、新たな入浴体験を提供する新発想の泡シャワー「KINUAMI(絹浴み)」が、公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2019年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

■受賞製品「KINUAMI(絹浴み)」について

シャワーヘッドから自動生成される天然シルク成分配合の高密度で温かな「KINUAMIの泡」で、まるで白まゆに包まれるように贅沢に全身をパックし、洗身後の肌をトリートメントすることができる「カラダトリートメント」シャワーです。

「KINUAMI(絹浴み)」は2019年3月27日より、国内最大のクラウドファンディングサービスである「MAKUAKE(マクアケ)」を活用し、ユーザーに提供するための資金獲得と先行予約を実施。約2週間で完売・プロジェクト目標を達成し、多くの皆様からご評価をいただいた商品です。

現在は、ご支援いただいた皆様へのリターン返送に向けた準備と、一般販売に向けた事業化の検討を進めております。



プレス式塵芥収集車「プレスマスターPB7型」 「2019年度グッドデザイン賞」を受賞

環境車両事業

モリタエコノスが開発し、好評発売中のプレス式塵芥収集車「プレスマスターPB7型」が、公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2019年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

■受賞製品「プレスマスターPB7型」について

「プレスマスターPB7型」は、ゴミ収集の効率化と負担軽減、安全性の改善を目指したプレス式塵芥収集車です。当社独自のハイマウントリアパネル(背面上部)に灯火器と表示器類を集約し、後方からの視認性を高め安全性を向上。また、後部扉は片手で開閉可能な軽さを実現しました。

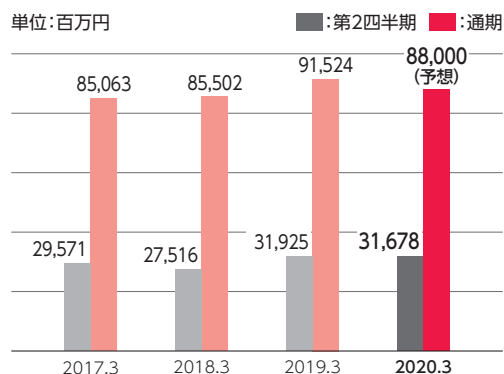
ゴミ収集車は人々の暮らしや街を清潔に保つために重要な役割を持つクルマです。「プレスマスターPB7型」は、信頼感のある力強い機能的造形で働くクルマのカッコよさを追求すると共に景観と共生するクルマを目指しました。働く人に喜びや誇りを抱いていただき、「あのゴミ収集車が来たら街を綺麗してくれる」と地域の人や社会から期待される存在となることを願っています。



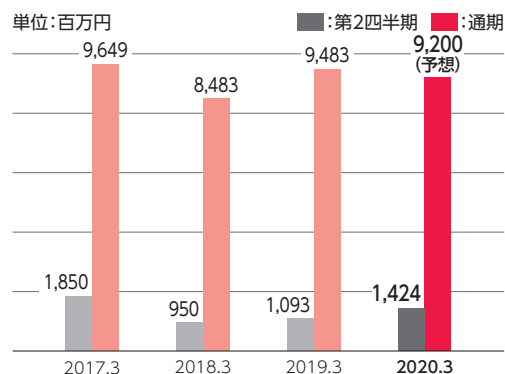
プレスマスターPB7型

財務ハイライト(連結)

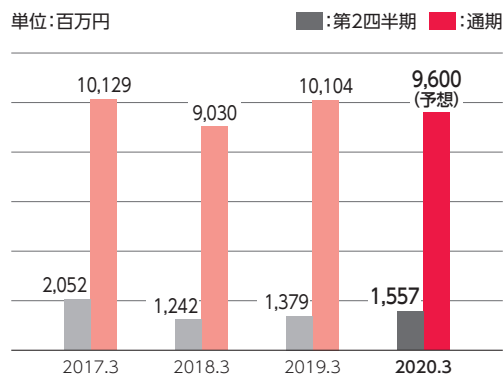
売上高



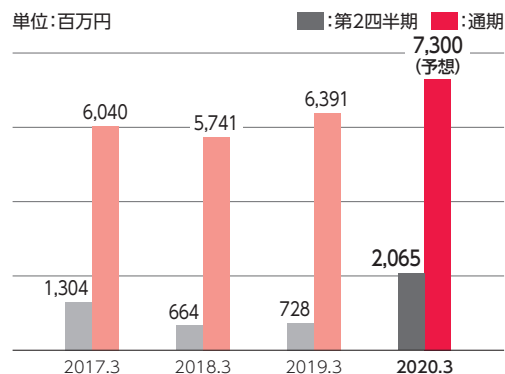
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



セグメント別概況

防災事業

売上高 8,003百万円 前年同期比 ↓ 18.0%減
セグメント利益 227百万円 前年同期比 ↓ 55.7%減

消火器販売が堅調も、パッケージ型自動消火設備「スプリネックス」の売上が低調に推移。



消防車両事業

売上高 15,929百万円 前年同期比 ↑ 6.5%増
セグメント利益 557百万円 前年同期比 ↑ 274.9%増

主に海外売上が堅調に推移。



環境車両事業

売上高 5,134百万円 前年同期比 ↑ 6.0%増
セグメント利益 401百万円 前年同期比 ↑ 59.2%増

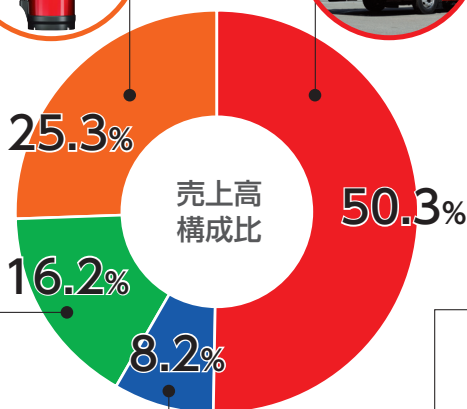
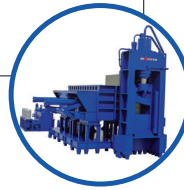
製品の出荷が堅調に推移。



産業機械事業

売上高 2,611百万円 前年同期比 ↑ 10.6%増
セグメント利益 221百万円 前年同期比 ↓ 4.2%減

部品及びメンテナンスの売上が減少したものの、製品販売が堅調に推移。



会社・株式情報

商 号	株式会社モリタホールディングス
創 業	1907(明治40)年4月23日
設 立	1932(昭和7)年7月23日
資 本 金	47億4,612万円
大 阪 本 社	大阪市中央区道修町3丁目6番1号
東 京 本 社	東京都港区芝5丁目36番7号
事 業 内 容	グループ各社の事業活動の支配・管理及び 管理間接業務の受託

役 員

代表取締役会長兼CEO	中 島 正 博
代表取締役社長執行役員	尾 形 和 美
取締役 常務執行役員	森 本 邦 夫
取締役 執行役員	金 岡 真 一
取 締 役	磯 田 光 男
取 締 役	川 西 孝 雄
常 勤 監 査 役	浅 田 栄 治
常 勤 監 査 役	宮 崎 敦 志
監 査 役	太 田 将 三
監 査 役	西 村 捷 三
常 務 執 行 役 員	村 井 信 也
執 行 役 員	坂 本 直 久
執 行 役 員	伊 藤 満

株式のご案内

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月開催
基 準 日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公 告 の 方 法	電子公告とし、当社のホームページに掲載する。 https://www.morita119.com/kohkoku/index.html
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株 主 名 簿 管 理 人 事 務 取 扱 場 所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
1 単 元 の 株 式 数	100株

【特別口座について】

株券電子化前に「[ほふり]」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

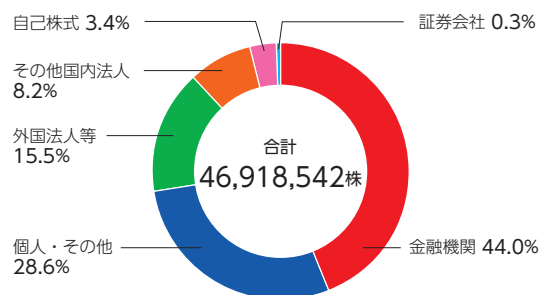
証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

主要グループ会社

株式会社 モ リ タ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防 車両並びに特殊車両の開発・製造・販売
モリタ宮田工業株式会社	東京都江東区有明3丁目5番7号 消火器を中心とした消火関連機器、消火 装置、その他各種防災機器・設備の開発・ 製造・販売
株式会社 モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 リサイクル処理施設、その他各種ごみ処理 施設の設計施工並びに各種大型油圧機械 の開発・製造・販売
株式会社 モリタエコノス	兵庫県三田市テクノパーク28番地 衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・ 製造・販売
株式会社 モリタテクノス	兵庫県三田市テクノパーク32番地 消防車両・救助用資機材等のアフターサー ビス・メンテナンス並びに電子応用機械器具・ 情報処理機械器具の開発・製造・販売
BRONTO SKYLIFT OY AB	フィンランド共和国 タンペレ市 屈折はしご付消防車及び高所作業車の開発・ 製造・販売

所有者別株式数分布状況

2019年9月30日現在



大株主(上位10名)

2019年9月30日現在

株主名	持株数(千株)
第一生命保険株式会社	3,265
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,260
モリタ取引先持株会	2,205
株式会社みずほ銀行	2,087
三井住友信託銀行株式会社	2,082
株式会社三菱UFJ銀行	2,048
株式会社三井住友銀行	2,007
エア・ウォーター株式会社	1,730
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,628
JP MORGAN CHASE BANK 385632	869

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式 1,588千株を保有しております。

人と地球のいのちを守る

MORITA
株式会社モリタホールディングス

【大阪本社】
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号
☎06-6208-1907
【東京本社】
〒108-0014 東京都港区芝5丁目36番7号
☎03-6400-3480
<https://www.morita119.com>



ユニバーサルデザイン (UD) の
考えに基づいた見やすいデザインの
文字を採用しています。